

学力向上推進ティーチャー

なぜこの事業を行っているのですか？

学校が週5日制になって以来、学習時間の減少による学力の低下が心配されており、基礎学力を充実させることが大きな課題となっています。

また、変化の激しい社会を生きる子どもたちが、知識や技能はもちろんのこと「生きる力」として「確かな学力」を身に付けていくことが必要です。

<世界における日本の生徒の学習到達度>

読解力

	2000年調査	2003年調査	2006年調査
日本の得点	522点	498点	498点
OECD平均得点	500点	494点	492点
OECD加盟国中の順位	8位	12位	12位

数学的リテラシー（生活の場面で物事を数学的に解釈・表現し、判断を下す力）

	2000年調査	2003年調査	2006年調査
日本の得点	557点	534点	523点
OECD平均得点	500点	500点	498点
OECD加盟国中の順位	1位	4位	6位

（文部科学省「OECD生徒の学習到達度調査(PISA)2006年調査国際結果の要約」より）
調査の対象は15歳の子どもです。日本では、高校1年生約6,000人を対象に調査が行われました（2006年）。

OECD（[👉解説](#)）

どのようなことを行っていますか？

区で独自に採用した「学力向上推進ティーチャー」をすべての区立小・中学校に派遣し、チームティーチング（[👉解説](#)）や少人数指導など、きめ細かな学習指導を実施しています。

また、各学校の状況に応じて放課後等に学習指導を行い、児童・生徒の学力向上に努めています。

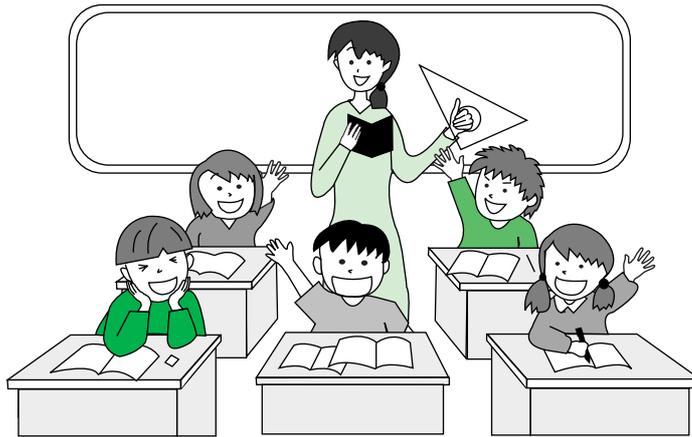
事業の進み具合はどうか？

平成19年度の途中から実施しており、すべての区立小・中学校に派遣しています。

平成20年度は、小学校で1校あたり週20時間、中学校で1校あたり週21時間を上限に学力向上推進ティーチャーを配置し、それぞれの学校で指導にあたっています。

今後はどのように取り組んでいくのですか？

今後は、1校あたりの派遣時間を増やすなどして、さらにきめ細かく児童・生徒に対して学習指導を行い、学力の向上を図っていきます。



この事業に関するお問合せは

教育委員会指導室

03 - 5246 - 1451

平成21年4月から教育委員会指導課が担当します。

【解説】

OECD

ヨーロッパなど先進国によって、国際経済全般について協議することを目的とした国際機関のことです。現在30カ国が加盟しています。

チームティーチング(TT)

複数の教員が協力して行う授業の形式を言います。「学力向上推進ティーチャー」が授業に入る場合は教員が主な説明を行い、学力向上推進ティーチャーが児童・生徒個々の指導にあたります。